

連絡先：自動車局 審査・リコール課 リコール監理室 TEL:03-5253-8111 内線 42354 アドレス： <a href="http://www.mlit.go.jp">http://www.mlit.go.jp</a>
--

## リコール届出一覧表

リコール届出日：平成 26 年 08 月 01 日

リコール届出番号	外-2076	リコール開始日	平成 26 年 08 月 02 日
届出者の氏名又は名称	クライスラー日本株式会社 代表取締役社長 ポンタス ヘグストロム	製作国：アメリカ合衆国 製作者名：クライスラー社 問い合わせ先：専用フリーダイヤル TEL:0120-712-812 ホームページ： <a href="http://www.jeep-japan.com/">http://www.jeep-japan.com/</a>	
不具合の部位(部品名)	燃料装置(燃料タンク)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	<p>車両後部に組み付けられた燃料タンクにおいて、特殊な状況で追突を受けると、燃料タンクが破損し、燃料漏れが発生することがある。そのため、最悪の場合、車両火災に至るおそれがある。</p> <p>なお、衝突時等における燃料漏れ防止の技術基準を満たしているが、乗員の安全性を向上させるために行う措置である。</p>		
改善措置の内容	<p>全車両、燃料タンクガードを装着する。</p> <p>なお、本対策に必要な部品の準備に時間を要することから、当面の措置として、まずは使用者に対しダイレクトメールにより連絡を行い、対策部品の準備が整う9月下旬より再度連絡を行なう事とする。</p>		
不具合件数	0 件	事故の有無	なし
発見の動機	本国からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者：ダイレクトメールにて通知する。</li> <li>・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。</li> <li>・対策実施車両：改善実施済車両には、運転席側ドア開口部のドアロックストライカー付近にNo.2076 のステッカーを貼付する。</li> </ul>		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び輸入期間	リコール対象車の台数	備考
クライスラー	GH-KJ37	「ジープ・チェロキー」	1J4GM38KX4W111341～1J8GM58KX6W226616 平成 13 年 07 月 06 日～平成 18 年 08 月 24 日	4,320 台	
	ABA-KJ37		1J8GM48K07W528184～1J8GM58KX7W535861 平成 18 年 11 月 22 日～平成 19 年 06 月 11 日	59 台	
	(2 型式)	(1 車種)	(輸入期間の全体の範囲) 平成 13 年 07 月 06 日～平成 19 年 06 月 11 日	(計 4,379 台)	

### 【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。